

自然情報は「BOOK 愛ランド礼文」にあります。

E-mail: rebuncle@lilac.ocn.ne.jp

# レブンクル自然情報

カラーで自然情報を「礼文島のHP [http://www.h3.dion.ne.jp/ishida\\_h/index.htm](http://www.h3.dion.ne.jp/ishida_h/index.htm)」  
「ゆうひの丘のHP <http://homepage1.nifty.com/seikanso/>」

## ウミネコの声が聞こえる

海が荒れ寒さがゆるんだ3月4日、ウミネコが帰ってきたと尻尻からメールが入りました。翌日、海岸を眺めると尺忍の防波堤に30羽ほどのウミネコの姿を見かけます。2日後また寒くなりウミネコは姿を消しました。それからしばらく寒い日が続き、17日また暖気が入った夜、香深港にミャーミャーと鳴くウミネコの声がこだましていました。夜なので姿は見えませんが聞き慣れた声に春の兆しを感じて眠りにつきました。翌朝、香深港の外防波堤には200羽以上のカモメ類の群が見られました。双眼鏡で眺めると、オオセグロカモメ、ワシカモメ、シロカモメの中に、尾に黒い帯のあるウミネコが混じっています。今年は雪が多くて、寒さが厳しい冬でしたが例年と変わらずに鳥の渡りが始まっていることを知りました。港に集まるカモメたちも、あるものは北へ旅立ち、あるものは南から帰ってきます。彼らの声に耳をかたむけると「春だー、春だー」と叫んでいるように聞こえてきます。カモメたちも種類が違えば鳴き声が変わります。島で越冬するシロカモメ、ワシカモメ、オオセグロカモメの鳴き声の違いはよくわかりませんが、この時期帰ってくるウミネコは猫のような「ミャーミャー」とあきらかに違った声です。渡りの時期だけ見られるミツユビカモメはというと姿も可愛いのですが鳴き声も「キュウイキュウイ」ととても可愛らしい声で鳴きます。穏やかな夜は耳を澄ますとカモメたちだけではなく、上空からカモメやサギの群の声も聞こえることがあります。星空を眺めながら静かな一夜を過ごしてみませんか、渡り鳥の語りに耳を澄ませて。



ウミネコ・1999.5.15. 高山

オオセグロカモメより小型のカモメ、くちばしは黄色に赤と黒の斑がある。足は黄色、飛ぶと尾に黒い帯が見える。礼文では3月から11月まで見られるが、島で繁殖する個体数は減ったように見える。



ミツユビカモメ・2000.4.19. 高山

ウミネコよりもさらに小さなカモメ、くちばしは黄色、足の色は黒くて短い、飛ぶと羽先が黒く三つ指に見える。礼文島では、春4月と秋10月の渡り時期に海岸で見かける。

### 鳥情報待ってます。

15日帯広でヤツガシラが確認されたこと道新の紙面に写真が掲載されていました。礼文島でも毎年確認している鳥です。今年はいつ来るでしょう。ハクセキレイの群もそろそろ来ることでしょう。これからは一夜にして海岸に鳥があふれたり、裏山がにぎやかになったりと目が離せない時期です。

3月、4月、毎週日曜日午前10時 から

野鳥観察会 を予定しています。

場所は毎週変わりますので、参加希望者は前日までに電話して下さい。

礼文島の花ガイドは・礼文島の鳥花の道・北海道新聞社発行

## 鯨

礼文島は海に囲まれていますから、島に渡るフェリー上や島から海を眺めていると鯨類を見かけることがあります。特に冬期にはストラディング（死体の漂着）が見られることが多くなります。今年も2月15日から金田岬の近くに漂着死体がありました。鯨の種類はオオギハクジラ雄で体長は4.8m。オオギハクジラは礼文島によく打ち上げられる種類のように昨年漂着しました。この個体は3月初旬のしけでどこかに流されてしまいました。礼文島の地名にフンベ（奮部）があります。これはアイヌ語のhumpe=鯨、から名前が付いたものと考えられ、この礼文島でも古くから鯨との関わりがあったことが伺えます。さて鯨の仲間が世界には77種もいるそうで、日本近海では37種、北海道では21種類もの鯨類が確認されているそうです。きっと礼文島周辺の海でもこのほとんどの種類が見られるはずです。皆さんも鯨を見つけたらその大きさや背鰭や頭の形など記録をつけて、レブンクルに連絡して下さい。継続的な記録を残したいと思います。

北海道の鯨類（イルカも含む）・21種

（森と海の動物たち-エコネットワーク編）

セミクジラ、コククジラ、シロナガスクジラ、ナガスクジラ、イワシクジラ、ミンククジラ、ザトウクジラ、マッコウクジラ、アカボウクジラ、**ツチクジラ、オオギハクジラ、マイルカ、カマイルカ、セミイルカ、バンドウイルカ、コビレゴンドウ、オキゴンドウ、ハナゴンドウ、シャチ、ネズミイルカ、イシイルカ**。

太字は海岸に漂着した種類や洋上で確認したもの



オオギハクジラの雄の歯・2000.3.21

オオギハクジラの雄は下顎に写真のような牙がある。

サロベツの花ガイドは・サロベツ花原野花の道・北海道新聞社発行

## 2001年2月自然日誌

1日雪後雨。-4.1~+0.3。港のゴメが騒がしい。  
 2日、暴風雪-0.2~-11.7。利礼航路全便欠航。  
 バス運休。波7m。月、惑星が牡牛座に集合して、月、木星、土星が「へ」の字形に並んだ。  
 3日雪-11.3~-7.7。利礼航路全便欠航。  
 港のゴメが騒ぐ。木星が赤く輝く。  
 4日晴れ-9.3~-8.9。5日、晴れ。-10.4~-8.0。  
 6日雪-9.1~-12.3。7日雪。-11.7~-11.4。  
 8日晴れ-13.4~-10.0満月。9日晴れ-8.5~-6.6  
 10日晴れ。-7.7~-10.9。11日雪-12.9~-13.7  
 12日雪-15.1~-12.7。地面-1.3。13日晴れ-12.7~-7.5。  
 14日晴れ-13.6~-12.1。アツモリ支障木枝打ち。  
 15日晴れ-12.5~-8.5。  
 スコトン岬オオワシ2、オジロワシ1飛翔。  
 浜中オジロ1、オオワシ1。金田岬オジロワシ1飛。  
 上泊アザラシ27、ヒメウ。海水できシャベツ状。  
 金田岬に鯨の漂着死体がある-岡崎。  
 16日雪西風強-11.0~-8.5。ベンサシでトド-松岡。  
 17日、晴れときどき雪。-10.9~-5.3。  
 一の沢でクマゲラ2時間ほど枯れ木をつついた。  
 アカゲラ、クイタダキ、ヒガラ、シジュウカラ、  
 コゲラ？、シマエナガ。-村上。  
 午後スキー場オオワシ、オジロワシ。夜星空。  
 雪崩のため香深井起登白間夜間通行止め。  
 18日晴れ-4.9~-2.0。夜間通行止め。  
 オオワシオジロワシ調査0900~1100  
 須古頓オオワシ成鳥8、亜成鳥2、オジロワシ2、  
 金田岬オオワシ1。元地オオワシ成2、亜成2、  
 オジロワシ2。ハヤブサ雄1。合計19羽。  
 19日晴れ-8.1~-9.6。利尻くっきり。夜間通行止め。  
 スキー場オオワシ、オジロワシ。  
 20日晴れ-7.8~-8.5。利尻くっきり。夜間通行止め。  
 須古頓ではオオワシ4、アザラシ77頭。  
 大備上空オオワシ1。上泊アザラシ37頭。  
 金田岬漂着鯨オオギハクジラと確認。  
 21日雨+0.1。22日雪-8.0。23日旭川営林局活動報告。  
 24日晴れ-3.5~-8.9。尺忍雪崩あと。  
 25日晴れ一時雪-8.9~-9.7。入舟オオワシ、オジロワシ  
 26日晴れ-9.3~-4.0。  
 海馬島オオワシ11羽、アザラシ200頭？。  
 浜中オジロワシ1羽、アザラシ死体1。  
 五番地オオハム3羽、コオリガモ、シノリガモ20。  
 上泊ゴマフアザラシ22頭。  
 香深シノリガモ30羽、ウミアイサ20羽。  
 コウミスズメ21日藤田保護、その夜落鳥。  
 27日晴れ-0.2~+1.4~-1.3。利尻くっきり。  
 28日、雨雪。-0.1~+1.3~-0.1。  
**今月礼文島で確認した鳥** オオワシ、オジロワシ、  
 ハヤブサ、ウミウ、ヒメウ、シノリガモ、  
 ウミアイサ、シロカモメ、ワシカモメ、  
 オオセグロカモメ、セグロカモメ、スズメ、  
 ハシブトガラス、ハシボソガラス、オオハム、  
 コオリガモ、コウミスズメ、マガモ、アカゲラ、  
 クマゲラ、クイタダキ、ヒガラ、シジュウカラ、  
 シマエナガ、ゴジュウカラ。

利尻島の花ガイドは・利尻山の鳥花の道・北海道新聞社発行